

<みよみよ はればれ まんなか>



美花果 便り

Vol.45

都筑の町のほほまんなかで

～その 45～

新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひ申し上げます。

昨年のは旦は能登地方の地震から始まりました。天候の異変も含めて何があるかわかりません。

太古の昔から生きることは大変です。文明が進む中で、安全で安心して暮らしたいという人間の本能と欲求から、環境を整えてリスクを減らしました。厳しい時代を知らない私たちは、生きることが出来ることが当たり前のように思ってしまう。しかし、災害を目の当たりにすると、日々こうして暮らしていることは決して当たり前ではないと気づくのです。

さて「幸せ」とは、それはその時その時の瞬間ではないかと思ひます。寒い日に湯船につかった瞬間に筋肉がほぐれて緊張がゆるみ「あ～あったか～い。しあわせ～い」と。ショートケーキの一切れを口の中に入れた瞬間に、クリームのは甘さとイチゴの甘酸っぱさがスポンジケーキと一緒に溶け合うその瞬間、「あ～美味しい！シアワセ♡」と。久しぶりに会う友達や家族と食卓を囲み、ご飯を食べながら近況を話すと、そうかそうかと聞いてくれる人がいることに「幸せだな😊」と。

日々の幸せの積み重ねが少しでも長く続くようにと願ひ、その幸せが壊されないようにと、天に祈る年の初めです。異常気象の原因のひとつが私の我儘の積み重ねとしたら、反省して少しがまんします。(少しだけか?) どうか、どうか、災害のない安寧な一年となりますように、お祈り申し上げます。

松田

みよみよ看護

【訪問看護ステーション】

住所: 〒224-0033

横浜市都筑区茅ヶ崎東 4-9-18

電話: 045-949-6277

FAX: 045-949-6278

メール: e-matsuda@ni-care.jp

ホームページ: <http://www.ni-care.jp/>



「看」という文字は、手をかざしてよく見るという意味合いがこめられています。

中国の禅僧が我々の中に存在する宝を見極めよ、という意味で「看看 (みよみよ)」といっているところから名前をつけました。

皆様の心の中にある宝物を大切に、お家での生活を支えます。

【 お雑煮調査の結果です！ 】



新年あけましておめでとうございます。

今年もよろしく願いいたします。

お正月といえばおせちも良いですが、お雑煮が私は大好きです。

昨年12月頃から訪問時にお雑煮についての調査(お話を聞かせていただきました)を行い、それぞれの地域やご家庭によっていろいろなお雑煮があると実感しました。

やはり関東はお醤油のすまし汁が一般的で、我が家も味付けはお醤油です。関西出身のご家庭は白味噌となり、白味噌のお雑煮も食べたくなりました。お餅が丸いのが不思議でした。

中の具材は味付け以上に様々で、関東では鶏肉が多かったです。印象的だったのは関西の里芋で、おいしそうだったので今年は我が家も里芋を入れました。お醤油ベースにも合っていておいしかったです。里芋が好きなので、来年も入れようと思いました。訪問してお雑煮の話をお聞かせいただくのがとても楽しかったです。



さて、お正月のゆったりとした雰囲気があつという間に通り過ぎ、寒さはこれからが本番です。

乾燥に伴う皮膚トラブル、インフルエンザなどの感染症に注意して、冬を乗り切りましょう！

看護師 鈴木 藍

～風に吹かれて～

2025年 巳年

巳と聞いてイメージするのが、毒をもってる、とぐろをまき体をうねらせ進む、ぬるぬるした感じ、、、と苦手と思う人も多いと思います。私もその一人です。

たまたま散歩をして寄った神社に

『巳は古くから田の神、水の神として身近な存在であると共に、足も羽もないのに動作がすばやい事から、神秘的なものとして尊ばれてきました』と書いてあるのを目にしました。

なるほど、干支になるだけあるんですね。方向転換はできても後退はできないところも

真似して、前向きな一年にしたいです。



しましまバード

